



# NEWS BOX

がんばろう! ものづくりの力を応援します!



試合は2戦先勝方式で実施。白熱した戦いが繰り広げられた



各チームのコマが士気上で激しくぶつかり合った

11月14日、柴田町の槻木生涯学習センターを会場に「全日本製造業コマ大戦2021東北地区学生大会」が開催された。今年度は県内7校のほか、山形県から1校、福島県から2校が参加。各校2チームずつの計20チームが出場し、トーナメント方式で優勝を争った。栄えある頂点に輝いたのは仙台高等専門学校(NTOR)の「NATORIA」。昨年度、同校は3連覇を逃しており、その雪辱を見事に晴らし、他チームのコマを総取りした。また、仙台高等技術専門学校の「仙台

今年度は10校20チームが参加  
趣向を凝らしたコマで頂点を競う



## 全日本製造業 コマ大戦2021 東北地区学生大会

高技戦B」が準優勝、白石工業高等学校の「機械部ものづくり班Bチーム」が3位となった。

なお、今回よりルールを一部変更。コマの材質を自由に選択可能としたことで、例年以上に趣向を凝らしたコマが各チームで製作された。主催した仙南マシクラブの熊谷裕一会長は「若者が、ものづくりに、より興味関心を持ち、地元就職のきっかけになれば嬉しいです」と学生たちの参加を大いに喜んだ。



## 第3回 みやぎ学生自動車整備 技能コンクール

自動車整備士を目指す学生が技術を競う「みやぎ学生自動車整備技能コンクール」が11月28日、仙台高等技術専門学校で行われた。学生の技術習得意欲と水準の向上を目的に、今回で3回目の実施。今回は、各校からの応援のほか、小学生や自動車業界関係者など約100人以上を超えるギャラリーを前に県立高等技術専門学校と花壇自動車大学の1年生12人が、「エンジン整備」、「シャシ整備」、「定期



多くのギャラリーが見守る中で行われた

点検作業」の3種目で、時間内の正確性や安全性を競い合った。



各ブースに多くの高校生が集まった



## 仙台市で 地域産業説明会を開催

11月16日に、地域の企業の魅力を高校生に伝える「仙台地域ミライ企業図鑑」地域産業説明会(宮城県仙台市地方振興事務所主催)が、仙台サンプラザホール(仙台市宮城野区)で開催され、巨理高等学校、名取高等学校、塩釜高等学校、宮城県農業高等学校、黒川高等学校の2年生470人が参加した。会場では、仙台地域の企業35社の若手社員や採用担当者が仕事の内容、やりがいなどを説明した。

参加した高校生からは「実際に働いている人の話が聞けてよかった」「工業系の仕事に興味を持つことができた」などの感想が寄せられた。

Portreport

家具屋の

# 横顔



株式会社 magelin  
代表取締役 大村正 Tadashi Omura

人が使ってこそその家具  
機能があり美が生まれる



張りのある高い声で、絶えず笑みを浮かべて話す。2018年7月末、老舗家具店の株式会社家具の大丸を解散、その後、すぐさま新会社を立ち上げた。「大量に在庫を抱えて、何フロアにもわたって展示品を置くスタイルではなく、これからは自分の手に取まる規模で自分がこれだと思える物だけを提示するお店をやる」と、アンテナショップ「くらし座」をオープンさせた。「椅子だったらとかく座って心地良いというのが大事なのですが、そのためにはディテールの完成度を高めなければなりません。デンマークデザインには、家具の機能に対する根本的な突き詰めがありません」。暮らしのためのデザインを打ち出し、日本の生活デザインの父と呼ばれる秋岡芳夫氏の思想に深く傾倒。「秋岡芳夫氏が言っていたことでもあるんだけど、考える人、作る人、売る人、使う人はフラットな関係で、その人たちが車座になって、わいわいがやがやできる場所になりたいという思いを店名の「くらし座」に込めています。心に温かい炎をともし。

## 宮城新卒者等人材確保推進本部からのメッセージ

新型コロナウイルスの影響による企業の事業活動縮小が懸念される中、新規学校卒業者等の皆さまが安定した就職先を確保し、充実した職業生活を送ることができるよう、企業との懸け橋となる各種就職支援および職場定着支援を「就職・採用応援プラン」により推進します。

詳しくは、宮城労働局ホームページをご覧ください

